

埼玉県障害者交流センターＥＳＣＯ事業に係る 提案審査の講評について

本事業は、障害のある人の社会活動の拠点である公の施設へのＥＳＣＯ提案公募であり、省エネルギー設備改修及び中央監視業務等について応募者の独自性あるノウハウを生かした提案を広く求めたところ、東京電力株式会社埼玉支店・日本ファシリティ・ソリューション株式会社・株式会社山武・株式会社泉屋工務店・日本環境マネジメント株式会社、NKSコーポレーション株式会社・共成建設株式会社・株式会社シンエイの２グループから応募がありました。

埼玉県による事前の省エネルギー診断では、１８．７％の省エネルギー率を見込んでいましたが、応募提案はいずれもこの値を上回る省エネルギー効果が見込まれる内容でした。

これらのＥＳＣＯ提案を、埼玉県障害者交流センターＥＳＣＯ事業提案審査要領に基づき、提案書、応募者によるプレゼンテーションなどについて事前に公表した審査要領に従って審査を行い、各委員の評点を合計する形で順位付けをしました。

その結果、総合評点の最も高い東京電力株式会社埼玉支店のグループの提案を最優秀提案とし、優先交渉権者とする事としました。

東京電力株式会社埼玉支店のグループの提案は、熱源機器の更新、照明設備の高効率化、遠隔監視システムの導入による省力化など、財政面、技術面、環境面でバランスのとれた提案となっていました。特に、品質安全連絡会、省エネ・環境講座を定期開催し、これをPDCAサイクルによることで、サービスレベルを低下させないなどの具体的な工夫がありました。

また、NKSコーポレーション株式会社のグループの提案は、空調機器の制御システムに独自性が見られたものでした。

最後に、多大なる労力をおかけし、貴重なご提案をいただいた応募者各位に心からお礼申し上げます。

平成２０年７月２８日

埼玉県障害者交流センターＥＳＣＯ事業提案選定会議

委員長	高村 淑彦
副委員長	津久井 千章
委員	島崎 規子
委員	岸田 健
委員	藤尾 勉
委員	峰川 正三